

キャラクター名 アシュラ・タルード	プレイヤー名
----------------------	--------

種族	シャドウ	種族特徴	暗視/月光の守り 【〇魂の絆(ルル所持、効果対象)】		
生まれ	戦士	性別	男	年齢	16
冒険者Lv	17	経歴			
経験点	101860				

技	23	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	4	36	15	78	13	ファイター	17		
体	17	敏捷度	4	53	15	95	15	プリースト/エセルフィン	15		
		筋力	12	38	15	82	13	スカウト	3		
心	11	生命力	8	108	17	150	25	レンジャー	9		
		知力	9	94	21	135	22	エンハンサー	11		
		精神力	10	105	11	137	22	アルケミスト	2		

戦闘特技				言語			会話	読文
タフネス	2122p	なぎ払い	IB38p	交易共通語	○	○		
ルーンマスター	IB34p	防具の達人	IB32p	魔動機文明語	○	○		
バトルマスター	3143p	ガーディアン	IB29p	シャドウ語	○	○		
治癒適性	2122p	マルチガード	IB32p					
不屈	2123p	頑強	IB29p					
ポーションマスター	2123p	無尽の盾	FC26p					
魔力撃	IB39p	マルチアクション	IB39p					
防具習熟A/盾	IB31p	魔法拡大/数	IB39p					
かぼう	IB36p		p					
鉄壁	IB30p		p					
防具習熟S/盾	IB32p		p					

練技/呪歌/騎芸/賦術	
ビートルスキン	
メディテーション	
ストロングブラッド	
アンチボディ	
スフィンクスノレッジ	
ケンタウロスレッグ	
シェイプアニマル	
リカバリィ	
チックチック	
クラーケンスタビリティ	
ヘルシーボディ	
パークメイル	
パラライズミスト	

技能	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	17	30	32	30
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

必要ランク	必要筋力	必要回避力	必要防護点
鎧	聖月帝の鎧【獄炎】	40	-4 22
盾	聖銀鱗のフロートガンダルフ・イビル【煌】	50	-7 17
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)		3	8
回避技能	ファイター	合計値	24 59

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ヘビーメイス	1H両	15	4	2d+ 34	12	38	20										
ヘビーメイス	2H	15	4	2d+ 34	12	38	30										
神聖鉄塊 シェイク・アースクエイク 改造三回 命中+2・威力+20・追加ダメージ+1	2H	40	13	2d+ 43	10	47	100										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP	魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
3 _m	97 _m	291 _m	2d+ 24	59	237	神聖魔法	15	39			
魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP							
2d+	0/X	2d+ 18	2d+ 54	2d+ 58	189						

装備品	説明	装備品	説明
頭 古強者の兜	防護+2、器用・敏捷・筋力・知力+4、命中+2、追加ダメージ+5		
耳			
顔			
首 血水晶のチョーカー			
背中 野伏のドミネーターズマント	生命・精神抵抗・生死判定+1	エリャンハルの外套	全基礎能力値+5、プレスダメージ-2
右手 エクレール・ガントレット	1Rに1度、MP5消費にて、全てのダメージを25%軽減 さらに能輪・腕輪系を2つ装備可能	左手 アルケミーキット	共有から 常時命中-1、一日一回近接攻撃を自動成功に
腰 多機能覇竜のベルト	常時防護点+3、生命・精神抵抗+2 近接攻撃 魔法行使時、HPを5消費し回避・精神抵抗-2	チャンピオンのロイヤルクロス	
足			
その他不撓のバックル	ガンの命中判定を精神抵抗 成功で半減	ポーションインジェクター	INウィッチポーション

その他メモ	自動失敗 チェック
初期値A~Fのみ引き継ぎ	□□□□⑤
一般技能：兵士4Lv 漁師3Lv	□□□□⑩
ドレドロン出身の一本気な若者。 生まれながらにして漁師の才能がある模様。	□□□□⑮
	□□□□⑳
一匹狼なシャドウの父と国を守る騎士の一人であった人間の母は、それはもう相当な大恋愛をしたそうで。 今でも近所では秘かに語り継がれていて、ついにその話は自国の娘の耳にも入ってしまったらしい。 そのせいで昔から周囲に揶揄われたりもしたが、結局俺はこの年まで恋の一つもせず生きてきた。 だからといって、それが残念であると思っているわけではないのだが。	□□□□㉕
	□□□□㉙

